令和5年度　南信州広域連合地域自立支援協議会　人材育成部会　活動報告

1. 本年度のねらい・目的

「ネットワーク作り」をテーマに、部会を通して圏域内の法人、事業所、市町村からの情報を共有し連携体制の強化、情報交換の場としていく。

また、相談支援専門員としての役割とチーム作りについて、手順を含めた基本の確認と多職種協働の大切さについて確認し、主体性を持った事例検討を行なう。

1. 部会活動計画

・専門研修会の企画

・ライフステージの変化を見据えた計画（サービス等利用計画・個別支援計画）について考える。

・サービス等利用計画の質を上げる。

・関係機関、他事業所との連携方法等について学べる場とする。

1. 部会開催日程・活動内容

＜専門研修等＞

〇第1回　11月14日（火）　10:00～12:00　　　（86人）

会場：飯田市上郷公民館　201講堂

　　こども部会・人材育成部会　合同研修会

「ライフステージにそった本人支援と家族支援」

講師：日本相談支援専門員協会顧問　福岡寿　氏

〇第2回　1月25日（木）10:00～11:45　　　　　（50人）

会場：飯田市勤労者福祉センター　3F　第3研修室

　「サービス管理責任者等の役割と個別支援計画の作成」

講師：一般社団法人ゆらゆら　代表理事　中村修　氏

＜相談支援専門員の会＞

　　〇第1回　5月9日（火）10:00～11:30　　　　　　(28名)

　　　会場： 飯田市上郷公民館　202　中会議室

　　　　令和5年度活動計画について

　　　　サービス等利用計画について

　　〇第2回　7月18日（火）10:00～11:30　　　　　（22名）

　　　会場： 飯田市上郷公民館　202　中会議室

　　　　事例検討2ケース　×4グループ

　　〇第3回　10月17日（火）10:00～11:30　　　　　（25名）

　　　会場： 飯田市上郷公民館　202　中会議室

　　　　事例検討2ケース　×4グループ

　　〇第4回　12月19日（火）10:00～11:30　　　　　（33名）

会場： 飯田市上郷公民館　202　中会議室

　　　　事例検討1ケース×5グループ

　　〇第5回　2月20日（火）10:00～11:30　　　　　　（24名）

　　　会場： 飯田市上郷公民館　202　中会議室

　　　　事例検討１ケース×４グループ

今年度の活動の振り返り(アンケート集計を基に)、来年度に向けて

＜グループホームバックアップ担当者会＞

　　〇第1回　6月22日（木）　13:30～15:00　　　　　　（14名）

　　　会場：さんとぴあ第1講習室

　　　　令和4年度活動報告・令和5年度活動計画と世話人研修会について

　　〇第2回　9月15日（金）　13:30～15:00　　　　　　（8名）

　　　会場：南信州広域連合事務センター

　　　　世話人研修の内容検討、情報共有等

〇第3回　12月18日（月）　13:30～15:00　　　　　　（14名）

　　　会場：さんとぴあ第1講習室さんとぴあ第1講習室

　　　　世話人研修の内容の確認と進め方の共有（役割分担）、情報共有等

　　〇第4回　2月19日（月）　13:30～15:00　　　　　　　（9名）

　　　会場： 南信州広域連合事務センター

　　　　今年度の活動の振り返り(アンケート集計を基に)、来年度に向けて

・グループホーム世話人研修会　　1月16日（火）13:00～14:00　　（81名）

　会場：オンライン開催（zoom利用）　　　　　　　　　　　　　　12事業所参加

　　　「グループホーム世話人さんの困りごと交流会～個人ワーク発表及びグループワーク～」

1. 成果

＜専門研修等＞

・11/14のこども部会との合同研修会「ライフステージにそった本人支援と家族支援」をテーマに昨年度に続き日本相談支援専門員協会顧問　福岡寿氏に講師を依頼、幼児、学齢の頃から支援を一貫させ人間関係の誤学習をさせないこと、最終的には人がかかわらなくとも一人で過ごせる力を身につけるための支援について講義していただき、自身の支援を振り返る機会となった。

・1/25の専門研修会「サービス管理責任者等の役割と個別支援計画の作成について」は一般社団法人ゆらゆら　代表理事の中村修氏に講師を依頼、アセスメントをしっかりとり本人のストレングスに着眼した個別支援計画の作成やモニタリングについて改めて確認することができた。

＜相談支援専門員の会＞

・ＧＳＶ（グループスーパーヴィジョン）という手法を用いた事例検討を中心に活動を行なっている。今年度より会の終わりに今回の事例検討で採択を決めた支援のアイディアを発表、次回の会の冒頭に前回事例検討で採択した支援のアイディアの導入後の様子について報告する時間を設けており、自身が事例を出した場合は期限も意識できるので良い。

・決まった形でＧＳＶが行われるため意見が出しやすい。社会資源の共有もできる。

・事例を基にいろいろな連携についての学びや情報交換、共有の場であり、相談支援専門員同士のつながりの場でもある。

＜グループホームバックアップ担当者会議＞

・昨年に続き、グループホームの現状や対応について話し合うことができ参考になった。（各グループホームの家賃等必要経費の共有、感染症対策についての情報共有等）

・昨年度に続きzoom使用にてグループホーム世話人研修会「グループホーム世話人さんの困りごと交流会」を開催。自分たちだけが困っているわけじゃない、という気持ちに切り替わることができ良い交流会となった。また対応も様々で勉強になった。法人ごとに参加人数のバラつきあり、5～6名集まれば話し合いができるが少数だと厳しいため、研修方法、内容については検討をしていく必要あり。

1. 令和6年度に向けて

＜専門研修等＞

・年間2回（上半期・下半期）開催予定。

＜相談支援専門員の会＞

・報酬改定について

・地域（在宅）の資源について

・ＧＳＶ→1事例でもいいか

・サービス管理責任者と相談支援専門員との共有が大事。（一緒の研修必要→専門研修会）

・「児→者」「者→介護」移行の研修

・社会資源の共有

＜グループホームバックアップ会議＞

・報酬改定について

・事例検討（テーマを絞って）

・ＢＣＰについて

・引き続きコロナ禍での運営状況、感染症対応を共有する。

・世話人研修の継続→状況によるが集合で研修できるとよい。